

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農水産品・加工品づくり
---------	---------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	畜産課長 川津章弘	電話番号	0852-22-5132
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	中小家畜対策事業		
目的	(1) 対象	中小家畜生産者	
	(2) 意図	中小家畜生産者の経営安定	
事業概要	養鶏・養豚の生産振興に関する事業及び養ほう振興法に基づく飼育届の受理と転飼許可に関する事務。県内産畜産物の生産拡大と消費拡大を図る。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	採卵鶏飼養羽数	目標値	955.0	970.0	985.0	1,000.0	千羽
	式・定義	当該年度採卵鶏飼養羽数	実績値	949.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名	豚飼養頭数	目標値	38,500.0	39,000.0	39,500.0	40,000.0	
	式・定義	当該年度豚飼養頭数	実績値	38,328.0				
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	735	735
うち一般財源(千円)	735	735

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

<ul style="list-style-type: none"> 養鶏、養豚とも法人化、企業化が進行。大規模農家を中心に増頭羽志向はあり、増頭羽の計画づくりを実施。 養ほうについては専門的に営農を行っている農家は県内10戸程度。県外からの転飼との調整を図りながら効率的な生産を展開。 採卵鶏 飼養羽数：平成26年度 817千羽 → 平成27年度 949千羽 養豚 飼養頭数：平成26年度 39千頭 → 平成27年度 38千頭 養ほう 平成26年度 飼育届件数185件、転飼許可箇所77箇所 → 平成27年度 飼育届件数184件、転飼許可箇所81箇所

6. 成果があったこと(改善されたこと)

<ul style="list-style-type: none"> 県内産卵の差別化を図りながら安定生産を実施しており、養鶏農家における美味しめね認証農家は1戸増加した(合計：10戸) 養鶏農家について新規事業により1法人が規模拡大を行った(24千羽増羽) マスメディアを活用した鶏卵の消費拡大のための広報活動を実施し、県内産鶏卵の販売促進を行った
--

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 養鶏一県内店舗における県内産卵販売のシェアが減少している 養豚一増頭志向農家があり、施設更新に合わせ規模拡大を行う計画をしているが、地元住民から糞尿処理等への懸念が示されている 養ほう一農薬散布のたびに、飼育蜜蜂を移動させる煩雑さや散布情報が正確に伝わらず、一部に農薬被害を受ける事例が発生している
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 養鶏一大型スーパー等の新規参入が続いており、県外産卵の参入が増加している 養豚一増頭により、新たな糞尿発生による悪臭等の問題が発生しないか地元住民が懸念を有している 養ほう一無人ヘリコプターによる広域的な農薬散布等が増加してきた
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 養鶏一県内産卵の差別化を図る 養豚一地元住民に対し新たな養豚施設整備を理解醸成させる 養ほう一蜜蜂飼育者と農薬散布者等との情報の共有化を図る

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<p>養鶏一消費者獲得のため、県の認証制度獲得農場の増加やその他差別化販売の取り組みを推進するとともにPR活動を実施していく</p> <p>養豚一地域住民に対し、計画策定時から随時情報提供を行うことで理解醸成に努め、施設を更新し規模拡大に努める</p> <p>養ほう一農薬散布情報について、行政機関も協力し迅速に提供する体制を構築する</p>

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)

--

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	中小家畜対策事業
---------	----------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	養蜂飼育届群数	目標値		1,800.0	1,800.0	1,800.0	1,800.0	群
			取組目標値						
	式・定義	当該年度養ほう飼育届群数	実績値	1,757.0					%
			達成率	—	—	—	—	—	
4	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	